

Plan

Do

Check

Action

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
取組 育小推中進一 地貫区(連 お携け)る教	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査結果を共有し、国語、算数を重点とした、基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着を図る。 ・鶴川スタンダードによる共通の指導により、児童の学ぶ意欲の向上・授業規律の向上。 ・思考力、判断力、表現力の育成。 ・主体的・対話的な学習活動を積極的に取り入れる。 ・授業公開、相互理解。 ・相互交流や授業公開、研究発表会、教職員の交流の充実。 ・児童・生徒の直接交流の促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査結果を共有し、国語、算数を重点とした、基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着を図る。 ・鶴川スタンダードによる共通の指導により、児童の学ぶ意欲の向上・授業規律の向上。 ・思考力、判断力、表現力の育成。 ・主体的・対話的な学習活動を積極的に取り入れる。 ・授業公開、相互理解。 ・相互交流や授業公開、研究発表会、教職員の交流の充実。 ・児童・生徒の直接交流の促進。 	○
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○(低学年ブロック)ワークシートを活用し、順序や根拠を捉えて、説明的文章の大体を理解できるようにする。ペア学習等を通して、個の学びを交流し、自分の考えを表現し深める力を伸ばす。 ○(中学年ブロック)個で考える時間の後に、ペアやグループ等での交流をし、個の学びを充実させる。 ○(高学年ブロック)自分の考えをもち、その考えを交流させる時間を活用し、目的や意図に応じて的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりして、考えを深めたり違う考えを認めたりすることを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(低学年ブロック)話型を活用したペア学習等を通して、個の学びを交流し、自分の考えを表現し深める力を伸ばす。 ○(中学年ブロック)文章を正しく読み、自分の考えを進んで表現し、ペアやグループ等での交流をし、個の学びを充実させる。 ○(高学年ブロック)根拠や理由を明確にししながら自分の考えをもち、その考えを交流させる時間を活用して、目的や意図に応じて的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりして、考えを深めたり違う考えを認めたりする。 	○
数学 (算数)	<ul style="list-style-type: none"> ○(低学年) <ul style="list-style-type: none"> ・算数の問題を具体物などを用いて解決したり、結果を確かめたりする活動を通して、自分の考えを伝え合う場面を増やし、自分の考えを表現する力を伸ばす。児童の生活に身近な事象から学習課題を設定したり、ワークシートを工夫したりすることで、児童が自分の考えを表現しようとする意欲を喚起したり、自分の考えを図や式や言葉を使って説明できるようにする。 ○(中・高) <ul style="list-style-type: none"> ・児童に身近な生活事象から場面設定をすることで、児童が自ら問いを見つけようとする。課題設定やワークシートを工夫することで、図と式や言葉を関連させながら自分の考えを説明できるようにする。 ・東京ベーシックドリルの診断テストを使い、児童の算数における基礎・基本となる力がどれくらい身に付いているかを把握し、児童の実態にあった教材を準備することで、計画的に児童の基礎・基本となる力の 	<ul style="list-style-type: none"> ○(低学年) <ul style="list-style-type: none"> ・算数の問題をおはじや算数ブロックなどの具体物を用いて解決したり、その様子を絵に描いたり、結果を確かめたりする活動を通して、自分の考えを伝え合う場面を増やし、自分の考えを表現する力を伸ばす。児童の生活に身近な事象から学習課題を設定したり、ワークシートを工夫したりすることで、児童が自分の考えを表現しようとする意欲を喚起したり、自分の考えを図や式や言葉を使って説明できるようにする。 ○(中・高) <ul style="list-style-type: none"> ・児童に身近な生活事象から場面設定をすることで、児童の意欲向上につなげるとともに、算数で学んだことを実生活で役立てようとする気持ちを育てる。課題設定やワークシートを工夫することで、図と式や言葉を関連させながら自分の考えを説明できるようにする。 ・東京ベーシックドリルの診断テストを使い、児童の算数における基礎・基本となる力がどれくらい身に付いているかを把握し、児童の実態にあった教材を準備することで、計画的に児童の基礎・基本となる力の育成を図るとともに、より難しい問題にも挑戦する機会を作る。 	○
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○(中学年ブロック)科学的な事象の中で日常で意識しづらいものについて、実物を用いたり観察したりすることで児童自身が発見・解決できるように工夫していく。また事象の科学的な意味を見い出せるようにする。 ○(高学年ブロック)実験を行うときには、方法や結果の予想を立てさせたり、条件が正しいかグループや全体で話し合ったりする活動を行う。今後も協同的探求学習に重点をおいた授業実践を積み重ねていく。特に観察・実験の技能を伸ばすためにも見通しをもち、計画的な実験の進め方や得られたデータを適切に処理する活動を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(中学年ブロック)実験の手順を児童に予め示し、児童自身が主体的に実験を進められるようにする。実験動画を使って学校でできない実験や分かりやすい実験の様子を説明するなどの工夫をする。 ○(高学年ブロック)科学的な事象や生物に関心がもてるように理科室の掲示物や飼育している生物などを紹介するなど工夫をする。実験の結果から分かったことを話し合う時間を確保し、対話を通して学んだことを深められるようにする。 	○

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
社会	<p>○(中学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京・町田・金井の地域について興味をもって学習に取り組めるよう、普段よりニュースや新聞から身の回りのできごとについて、主体的に課題追究できるように計画する。 ・調べ学習において、図書資料を使って調べる方法や資料活用の仕方について詳しく学び、調べ学習の基礎を育成するとともに興味や関心をもてるような工夫をする。また、調べたことをワークシートやノートに自分でまとめられる力をつける。 <p>○(高学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の生活や興味・関心に即した具体例や説明を行ったり、デジタル教材を活用したりすることで、意欲を持って学習に取り組ませる。 ・新聞などの身近な資料の中から、必要な情報を抜き出しながら、自分の考えをまとめたり、発表したりする機会を多くもてるようにする。そのためには、普段の授業の中でも資料を活用した課題に多く取り組ませ、必要な情報から考えをまとめていくようにする。 	<p>○(中学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な東京・町田・金井の地域について興味をもって学習に取り組めるよう、ニュースや新聞などを活用して授業の導入をしたり、写真などの視覚的な資料を提示したりするなどの工夫をする。 ・調べ学習においては、図書資料やインターネットを活用し、調べる方法や資料活用の仕方について詳しく学び、調べ学習の基礎を育成するとともに興味や関心をもてる工夫をする。 ・学習したことをノートやワークシートにまとめられる力をつけていく。 <p>○(高学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会的な事象や歴史に興味や関心がもてるように、身近な問題の具体例を示したり、デジタル教材を活用したりすることで主体的に学習に取り組めるようにする。 ・新聞を学習の資料として活用し、必要な情報を抜き出しながら、自分の考えをまとめる力を育てる機会を作る。 ・思考力を育てるために学習したことに対して自分の考えを感想文やスピーチなどで発表する機会を増やしていく。 	○
英語	<p>○担任とALTが連携して町田っ子カリキュラムや新テキストなどを中心に指導を行い、国際社会で通用するコミュニケーション能力の基礎を身に付けさせる。</p>	<p>○町田市小学校英語教育カリキュラムの指導を引き続き行い、ALTや友達とのコミュニケーションを英語で楽しめるよう工夫し、コミュニケーションの基礎を身に付けさせる。</p>	○
音楽	<p>○(低学年ブロック)体を動かしてリズムを感じる活動や、友達と一緒に歌ったり演奏したりする活動を行い、音楽に関心を持ち、音楽表現の楽しさに気付くようにする。</p> <p>○(中学年ブロック)拍の流れやリズムに乗って表現や感受を楽しむ学習過程を工夫し、一人一人に音楽活動への興味・関心をもたせる。</p> <p>○(高学年ブロック)旋律の表現やフレーズの特徴の感受を高める学習過程を工夫し、一人一人に表現技能に支えられた自信をもたせる。</p>	<p>○(低学年ブロック)様々な音楽に親しみ、楽しんで協働して音楽表現する中で、表現に対する思いを持ち、技能が身に付けられるようにする。</p> <p>○(中学年ブロック)進んで音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じられるようにする。一人一人が思いや意図をもつとともに、表したい技能を身に付けられるようにする。</p> <p>○(高学年ブロック)主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じられるようにする。一人一人が表現に対する思いや意図を持ち、曲想と音楽の構造について理解しながら、表したい技能を身に付けられるようにする。</p>	○
美術 (図工)	<p>○(低学年ブロック)感じたことや想像したことなどから、表したいことを見つけて楽しく表すことができるようにする。</p> <p>○(中学年ブロック)進んで表現や鑑賞をする態度を育て、つくりだす喜びを味わえる場の設定・様々な材料の提示をし、作品づくりにおいて多面的なとらえ方ができるようにする。</p> <p>○(高学年ブロック)自分の思いをもって表現し、つくりだす喜びを味わえるための場の設定と表現の過程で取捨選択できるような様々な材料を示し、多面的なとらえ方ができるようにさせる。</p>	<p>○(低学年ブロック)感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて楽しく表すことができるよう、導入での提示の仕方や材料・用具などを工夫する。</p> <p>○(中学年ブロック)絵・立体工作・造形遊び・鑑賞それぞれの分野において、具象的なものや抽象的なもの、想像するものや感覚的に表していくものなど、様々な種類の題材を取り入れ、経験を積み重ねることで新たな視点に気付いたり発想を広げたりできるよう工夫し、児童の造形的な思考力や表現力を育む。</p> <p>○(高学年ブロック)中学年までの経験を生かし、さらに多様な材料・用具・表現方法を知ったり見つけたりする中で、自分なりの思いを持ち、思いに合った表し方や材料・用具を選択したり工夫したりする力を育む。</p>	○
技術・家庭	<p>○基礎的基本的な知識・技能の習得に粘り強く取り組めるように、できるようになったことを実感するためのカードを使った検定などを行う。その際、ヒントとなるような実習師範を行ったり実物見本・段階見本などを用意するなど児童にとって試したいできるようになりたいという意欲を高めていく。</p> <p>○学んだことを家庭や学校などで実践する機会を増やしていくために、家庭やクラス担任との連絡・連携を図り、実践したことを皆に紹介したり評価したりする。</p> <p>○実践を振り返って新たな日常生活での課題の発見などができるように、身の回りのことにアンテナを立てて情報を発信したり共に考えたりすることを、常に意識する。</p> <p>○対話的な学びに向けて、子供同士で協働したり意見を共有して互いの考えを深める活動を授業の中に取り入れる。</p>	<p>○5年生のミシン学習においては、ミシン運転免許を発行し、ミシンの上糸のかけ方や上糸の出し方の検定を行った。検定に合格しなかった児童は休み時間などに家庭科室で練習し、検定を受け直してきたという実感を伴うことにより、以降のミシン学習に対して自信をもって取り組む姿が見られた。今後はミシンだけに限らず、包丁の使い方や栄養素の理解などにも、挑戦しようと思えるチャレンジカードなどを用意する。</p> <p>○夏休みの課題であるトライカードの実践を授業で紹介し合い、お互いに真似をしてみたい実践を発表する。長期休業の実践だけでなく、普段にも進んでトライカードに取り組めるよう、家庭科だよりを発行し、啓蒙していく。</p> <p>○新聞や雑誌などに掲載されている日常の生活を豊かにしていくための技や知恵を紹介し、授業の導入の際にミニ情報として話題を提供する。</p>	○

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
体育	<p>○(低学年ブロック)遊びを通じて運動経験を十分に積ませて体を動かす喜びや仲間と協力する楽しさを味わわせ、体育の学習の素地を作る。また、遊びが日常化するような準備運動の開発を行う。</p> <p>○(中学年ブロック)低学年との系統性を考え、児童が多様な動きを習得することで、運動の特性に応じた技能を身に付けさせる。態度面や思考・判断面では、友達との関わり合いを大切に授業を展開し学び合いを深めつつ、学びに向かう活力も培う。楽しく運動技能が身につく準備運動等の開発を行う。</p> <p>○(高学年ブロック)児童の気づきや困った感を教師が拾い全体共有するなどして、課題解決型の学習展開を行う。そのためには、単元の配列や1単位時間学習の流れを明確にし、計画的に指導する。児童同士の学び合いや関わり合いの場を多く設定して運動の特性を味わいつつ学びを深められるように指導する。</p>	<p>○(低学年ブロック)運動遊びを通じて、運動の日常化を図る。そのために児童にとって魅力的な教材を提供できるようにして運動との出会いを大切にできるように指導する。また、領域に応じた、動的な準備運動を行わせる。</p> <p>○(中学年ブロック)体づくり運動等を計画的に配列して他領域と横断的に様々な動きが身に付くように指導計画を立てる。児童同士の関わり合いを大切に、教師の指導や児童の発問から児童同士の学び合いが行えるようにシェアリングの時間を1単位時間に入れ、協同的に学習を進められるようにする。</p> <p>○(高学年)課題解決型の学習を進められるように、1単位時間の中にシェアリングの時間を入れ、教師も発問を精選して指導にあたる。また、児童同士の相互評価を推進するために、デジカメなどのICT機器を活用して、客観的な視点で評価できるようにする。</p>	○
総合・(生活)	<p>(生活 低学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境や自分自身に関心を持ち、すすんでそれらとかがわかることができるようにする。 ・具体的な活動や体験について、自分なりに考えたり、工夫したりして表現できるようにする。 ・具体的な活動や体験によって、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身の良さに気付けるようにする。 ・地域人材を有効に活用できるようにしていく。 <p>(総合 中学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で課題を見つけて調べ学習を進めていけるよう、学習の進め方を示す。情報機器の活用についても指導する。 ・主体的・創造的に取り組む態度や自己の生き方を考える力を育てる。 ・障がいのある人やお年寄りをはじめとする地域の様々な人々との交流を通して、人に優しい行動が取れるようにする。 ・自然観察 動物・植物などを育てる活動を行う。 ・学校を取り巻く自然環境の有効活用する。 <p>(総合 高学年ブロック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見つけ、課題の解決に向けて主体的・創造的に取り組む態度や自己の生き方を考える力を育てる。情報機器の活用についても指導する。 ・自分にとって必要な情報を取捨選択しながら、自分なりの表現方法でまとめさせる。 	<p>○(生活 低学年ブロック)身近な環境や自分自身に関心を持ち、すすんでそれらとかがわかることができるようにする。(金井小周辺の自然環境をいかす 例 ゆうき山 畑など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動や体験について、自分なりに考えたり、工夫したりして表現できるようにする。(観察の観点、見学の視点を明確にする。ゴールを明確にすることで、子供同士学び合い、発表方法を工夫していく) ・具体的な活動や体験によって、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身の良さに気付けるようにする。(地域環境や自然環境に目を向けさせることで、良さに気付くことができるようにする。) ・地域人材を有効に活用できるようにしていく。(町探検など、地域人材との出会いの場を構成する) <p>○(総合 中学年ブロック)学習の進め方を示し、自分で課題を見つけて調べ、学習を進めていけるようにするとともに、自分の力でそれらをまとめていけるようにする。情報機器の活用についても指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・創造的に取り組む態度や自己の生き方を考える力を育てる。 ・障がいのある人やお年寄りをはじめとする地域の様々な人々との交流を通して、人に優しい行動が取れるようにする。 ・自然観察 動物・植物などを育てる活動を行う。 ・学校を取り巻く自然環境の有効活用する。 	○
道徳科	<p>○道徳授業地区公開講座を通して、保護者・地域との連携と児童の健全育成に取り組む。</p> <p>○特別の教科道徳へ向けて、ワークシートを利用し、心情の変化を読み取り、評価へとつなげていく。</p> <p>○発達段階に応じた指導を取り入れ、動作化や役割演技、ロールプレイや実際の行動の再現などを取り入れる。</p> <p>○展開前段の資料の読み取りから、展開後段の自分自身の振り返りの時間を大切に、道徳的実践力を養う。</p>	<p>○道徳授業地区公開講座を通して、保護者・地域との連携と児童の健全育成に取り組む。</p> <p>○特別の教科道徳へ向けて、ワークシートを利用し、心情の変化を読み取り、評価へとつなげていく。</p> <p>○発達段階に応じた指導を取り入れ、動作化や役割演技など体験的学習を取り入れ、児童の多様な意見を引き出す。</p> <p>○展開前段の資料の読み取りから、展開後段の自分自身の振り返りの時間を大切に、道徳的実践力を養う。</p>	○

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
特 活	<p>○年間を通してたてわり班活動を行い、1年生から6年生までの縦のつながりを深めるとともに、児童会活動・学級活動を活性化させ、よりよい集団・学校生活を送ろうとする心を育てる。</p> <p>○なかよしタイムを月1回、なかよし給食を1学期と3学期に行いつながりを深める。</p> <p>○町田っ子カリキュラムを活用して、規範意識を高め、また、食事の大切さやルール・マナーなどを学ばせる。</p>	<p>○年間を通してたてわり班活動を行い、1年生から6年生までの縦のつながりを深めるとともに、児童会活動・学級活動を活性化させ、よりよい集団・学校生活を送ろうとする心を育てる。</p> <p>○なかよしタイムを月1回、なかよし給食を1学期と3学期に行いつながりを深める。</p> <p>○町田っ子カリキュラムを活用して、規範意識を高め、また、食事の大切さやルール・マナーなどを学ばせる。</p>	○
家 庭 学 習 の 充 実 を 図 る た め の 工 夫	<p>○(低学年ブロック)・学習の進度に合わせ、国語、算数、音読の宿題を学年で統一し、同じやり方で進める。・家庭学習の習慣を定着させるとともに、その日の学習はその日のうちに復習できるように、保護者との連携を図りながら学習内容の理解を深めさせる。</p> <p>○(中学年ブロック)・漢字学習・音読を毎日宿題として出し、家庭学習の習慣を定着させるとともに、学習内容の理解を深めさせる。・算数の学習内容の定着度を高めさせるため、書き込み型ドリルに取り組みせたり、児童にあった個別プリントを課題として出したりする。</p> <p>○(高学年ブロック)・自ら進んで関心のある事柄や授業の予習・復習をすることにより学力向上を目指すため自主学習に取り組みさせる。・社会の出来事に目を向けさせるため、新聞のスクラップを情報ノートにまとめ、それをもとにスピーチ活動を行い、情報を簡潔にまとめる力、スピーチ力を養う。</p>		